

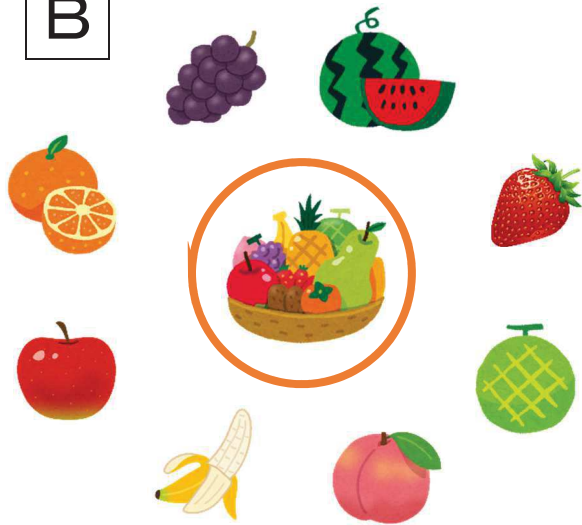




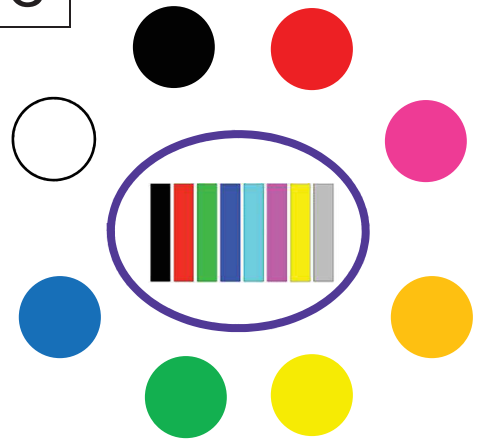
## U5-1 趣味

|          |   |
|----------|---|
| 目的       | 趣味を話題に、熱中していること、興味関心があること、やってみたいことなどを自由に話す。   |
| イラストについて | <p>好きなことや趣味、関心があることについて、指さしから話し始めるためのシート。</p> <p>①「趣味」</p> <p>1 段目：旅行、料理、食べ歩き、コスプレ、ゲーム</p> <p>2 段目：音楽、カラオケ、テレビ、カメラ、本（読書）</p> <p>3 段目：生け花、ガーデニング、手芸、プラモデル、映画</p> <p>②「スポーツ」</p> <p>1 段目：野球、サッカー、ラグビー、バスケットボール、柔道、水泳</p> <p>2 段目：テニス、バドミントン、卓球、ビリヤード、ゴルフ、乗馬</p> <p>3 段目：スキー、スノーボード、山登り、ボルダリング、筋トレ（ジム）、ヨット、釣り、スキューバダイビング</p> <p>4 段目：寝る（のが好き）（あるいは「昼寝」、「スポーツ（運動）しません」など）</p> |
| 使い方      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストの中に学習者が言いたいことがあれば、指さしをすることから会話を展開する。</li> <li>・学習者の趣味や話したいことがイラストの中にない場合には、学習者自身に絵を描いてもらったり、スマートフォンやタブレットで画像検索を活用したりして、学習者といっしょに言いたいことを伝えられるものを見つけながら、会話を楽しむ。</li> </ul>  |
| 備考       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しいことばを覚えるためのシートではない。</li> </ul>  |

B



C



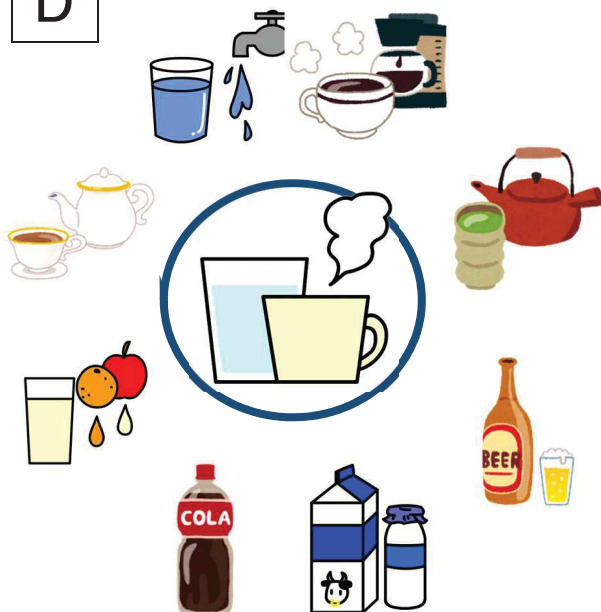
A

i nu ga suki desu  
 いぬ が すき です。



kirai desu  
 \*きらい です。

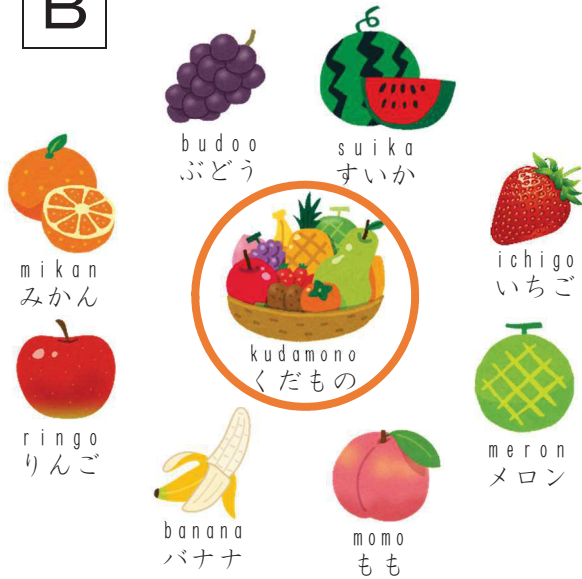
D



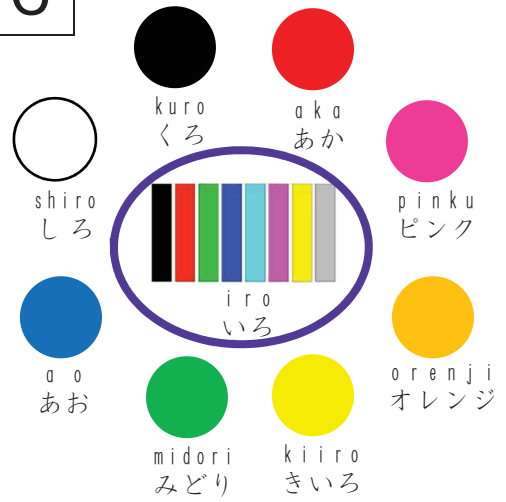
E



B



C



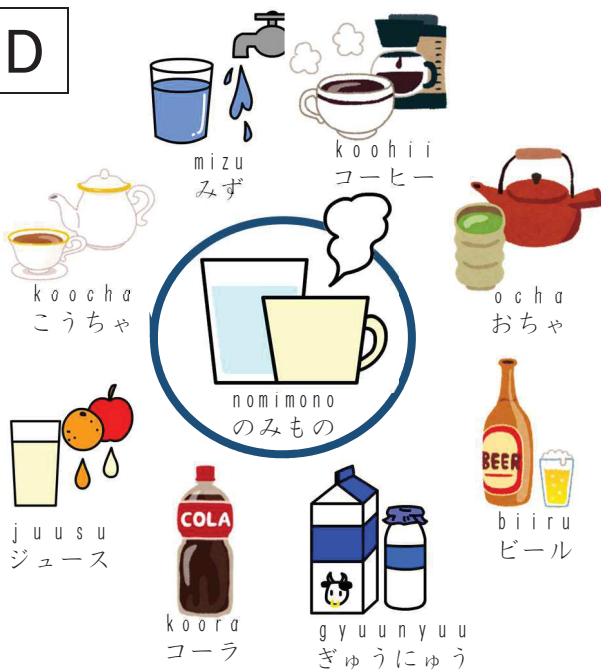
A

i nu ga suki desu  
いぬ が すき です。

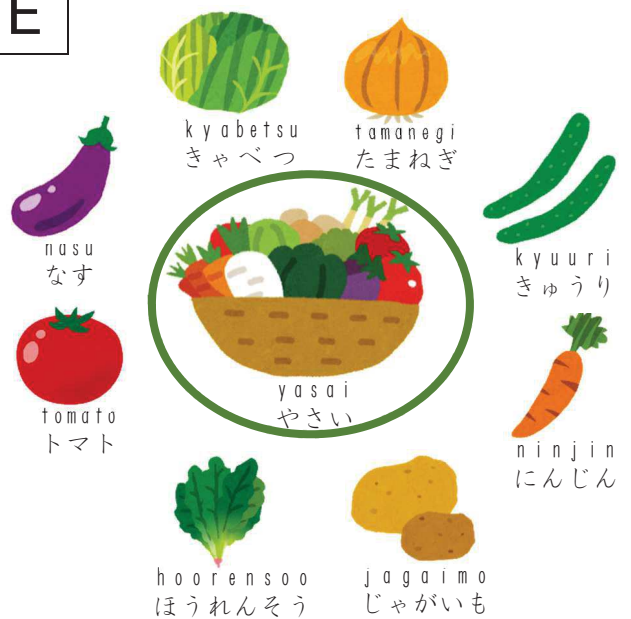


kirai desu  
\*きらい です。

D



E



## U5-2 すき

|          |   |
|----------|---|
| 目的       | 日本語学習者とボランティア等が、互いの好きなものを話す。  |
| イラストについて | <p> <input type="checkbox"/> A 動物<br/> <input type="checkbox"/> B 果物<br/> <input type="checkbox"/> C 色<br/> <input type="checkbox"/> D 飲み物<br/> <input type="checkbox"/> E 野菜         </p> <p>           ・ A 文字なし／B 文字あり がある。<br/>           話すことに集中したい場合は「A 文字なし」、文字が読めて物の名前も知りたい人には「B 文字あり」を使う（初めはAで活動し、最後にBを配ってもいい）。         </p>  |
| 使い方（例）   | <p>           ・ <input type="checkbox"/> A は例示。犬を抱く人のイラストを見ながら「すき」の意味を理解してもらい、その後、犬を指して学習者に「すきですか？」（「犬がすきですか」）と質問する。まだ日本語で答えられない場合、ジェスチャーで答えてもらってもいい。その後、「犬、猫、鳥、ハムスター、うさぎ」のイラストを指しながら、「～すきですか？」「はい/いいえ」でやりとりをする。<br/>           単語の学習（犬、猫…）は、学習者に意味のある単語（好きなもの等）のみ扱う。         </p> <p>           ・ <input type="checkbox"/> B～<input type="checkbox"/> E の中から、話が弾みそうなものだけ扱い、「果物は）何が好きですか？」「いちごがすきです。」とやりとりをする。まだ、物の名前が分からない場合は、好きなものを指してもらってもいい。         </p> <p>           ・他に U5-1「趣味」やお手持ちのイラスト集、写真集などを併用し、いろいろな「好き」の話をしてみるといい。         </p> |
| 備考       | <p>           ・嫌いな野菜など「きらい」を扱ってもいい。<br/>           ・このシートは新しいことばを覚えるためのシートではないので、ものの名称を扱う場合、イラストのすべてを扱うのではなく、必要な単語（好きな物、嫌いな物）だけに絞る。         </p>  |

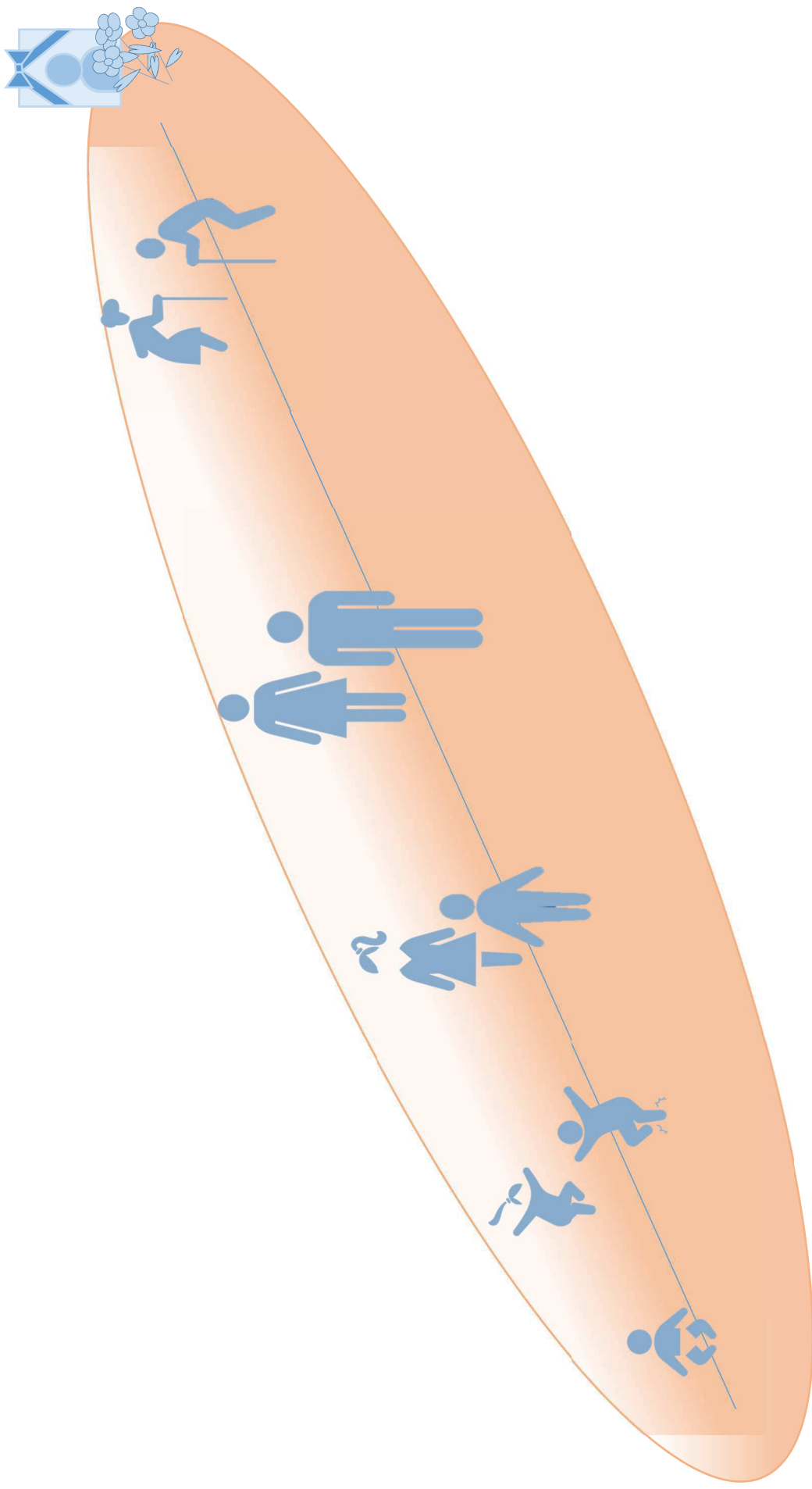
This page is a matching exercise for food and safety. It features several illustrations and icons:

- Top Row:** A boy eating an apple, a girl with a red 'X' over her face, a boy with a fever, and a girl with a plate of vegetables.
- Second Row:** Two empty boxes. The left one has a blue border and a yellow smiley face. The right one has a red border and a sad face with two 'X's.
- Third Row:** A collection of food items: an egg, a fried egg, a carton of milk, a beer bottle, a sake bottle, a fish, a shrimp, a crab, a chicken, a pig, a cow, a pineapple, a mango, and a red fruit.
- Fourth Row:** More food items: a bowl of rice, a bowl of soup, a bowl of noodles, a bowl of dumplings, a bowl of fruit, a bowl of vegetables, a bowl of rice, a bowl of soup, a bowl of noodles, a bowl of dumplings, a bowl of fruit, and a bowl of vegetables.

## U5-3 だいじょうぶ・だめ

|          |  |
|----------|--|
| 目的       | 好むと好まざるとに関わらず、アレルギーや宗教上の理由などで食べられないもの、飲めないものがある学習者もいる。そうしたことが伝えたいけれど伝えられずにいる学習者が、伝える「きっかけ」となるといい。  |
| イラストについて | ・アレルギーや宗教上の理由などで食べられないもの、飲めないものの一部を取り上げた。  |
| 使い方      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入門期の学習者であれば、「だいじょうぶですか?」「だいじょうぶ/だめ」といった簡単なやりとりから始める。すでに「食べられる/飲める、食べられない/飲めない」等、他の表現を使える学習者であれば、より多様な表現を使ったり、理由を聞いたりして話を広げられる。</li> <li>・ただし、個人のプライバシーに関わる事項でもあるため、無理強いすることなく、学習者の様子を見ながら進める。</li> <li>・このシートはアレルギーや宗教上、問題になる食品を網羅的に扱ったものではない。アレルギー症状を引き起こす食材などは多様であり、個人差も大きいため、チェックシートとして使うことは想定していない。場合によっては命に関わる危険があるので、慎重な対応が必要である。</li> </ul>   |
| 備考       | <p>このシートで取り上げていない食品については、以下のようなイラスト表なども活用しながら進めるとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○東京都多言語メニュー作成支援ウェブサイト「食品ピクトグラム」<br/><a href="http://www.menu-tokyo.jp/menu/pictogram/">http://www.menu-tokyo.jp/menu/pictogram/</a></li> <li>○成田空港内レストラン等で導入されているフードピクト(特定非営利活動法人「インターナショナル」)<br/><a href="http://business.nikkeibp.co.jp/atclcmp/15/010700011/041200013/">http://business.nikkeibp.co.jp/atclcmp/15/010700011/041200013/</a></li> </ul> |





## U5-4 ライフステージ

|          |  |
|----------|--|
| 目的       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習者とともに、それぞれの人生のこれまでのこと、これからのことなどを話題に取り上げる際に使う。</li> <li>・子や孫、あるいは親など、年代が異なる家族のメンバーのことを取り上げて話す場合にも使う。</li> </ul>   |
| イラストについて | <p>人生のそれぞれの時期を視覚的にあらわし、左下から赤ちゃん、子ども、思春期、成人、高齢者のイラストを並べた。最後は亡くなった人をイメージできるよう肖像写真風のイラストを添えた。</p>   |
| 使い方      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤ちゃんのイラストを指さして「〇〇さん（学習者名）は、どこで生まれましたか、いつですか」「子どものとき、遊びましたか。何をしましたか」、あるいは高齢者のイラストを指さして「仕事をやめたら、何がしたいですか」「どんな場所に住みたいですか」などと尋ねることができる。</li> <li>・同様にボランティアが自分の人生を語るのに用いることができる。</li> <li>・家族のメンバーの話をするときは、該当する年頃のイラストを指さして使う。ボランティアが自分の身近にいる多様な年代の人々を取り上げることは、日本社会の理解にもつながり、興味深く受け取られることが多い。</li> <li>・イラストは人生の終わりまでをカバーしているが、そこまで率先して話題に取り上げる必要はない。</li> <li>・このシートは他のシートと同様、学習者の話したいことを受け止めて、対話を深めていくためのものであり、先方から情報を聞き出すものではないことに注意してください。相手の口が重くなったら、深追いをせず、さらっと流すことも大切。</li> </ul> |
| 備考       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・U1-2「いつ日本に来ましたか」、U1-3「だれと来ましたか」などとあわせて使うと、来日時の家族の状況がより詳しくわかる。</li> <li>・上級学習者には、ライフステージという観点から、結婚資金、教育資金、住宅資金、老後資金など、日本に長期滞在をする際の経済的な知識を持ってもらうことも生活をする上では重要。</li> </ul>  |